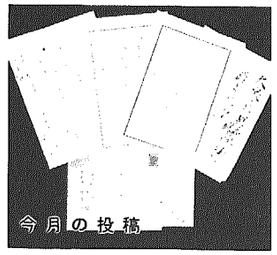
街かど



♥募集しています
・短歌
・俳句
・詩
・随筆
・イラスト
・写真
・まんが
・その他

♥町への意見や要望も受け付けます

♥文章は苦手というかたは連絡を取材に行きます

♥匿名もよいです

♥投稿・連絡先は黒埼町大野2843－1広報「街かど」係
☎377－3101

短歌

黒埼短歌会

あれこれと孫に送るを生き甲斐と呟きながら夫は荷作る　柴垣　きみ
亡き友の昨年の賀状を読み返し在りし日偲びぬ元日の朝　大谷　モト
賑やかに雪だるま作りいし孫ら去り一人の夜を雪の降り積む　泉井　ヨ子
初詣で家内安全願う前に受験の孫の合格を祈る　笠原　セツ
シクラメンの赤き一鉢愛らしく花も咲き継ぎひねもす眺む　渡辺　ウタ
いつまでも続く経済大国か光る自転車粗大ごみにあり　長谷川トリ
清やかに我が人生を歩まんと新年迎え心に誓えり　永田キヨイ
つきたての大福餅を大空に浮かべし如き今宵の月は　阿部　淨子
正月も間近になりて孫達のお年玉にと小銭をためぬ　大矢　キイ

俳句

黒埼俳句会

霜月というに秋の居座りて返り咲きたる菊の花匂う　山田　卯八
遺言となすべく我の考えを語りいる間に除夜の鐘鳴る　鷲尾　聿角
元日の朝にきざむ大根の音清やかに厨に広がる　小出美喜子
ワープロの賀状を友よりいただきて辞ある文字を思い出しおり　堀内　昌江
足早に追い越しゆきし乙女なり踏切の地蔵に灯明あげいる　伊藤　一男
……
大寒の期節はずれの暖かさ路上の雪小山に残れり　永田　和子
……
遠まわりして買物や日脚伸ぶ　みどり
風に折れ雪に埋もれしままの芦　きよし
大河を流れ散りゆく寒の月　多佳
冬ざれや破船の中も波の音　憲治
雪乗せて我が町行きのバスが来る　もと
女子高生うっすらと紅春隣り　よしお
雑踏のひとりひとりの小春かな　みよし
大根煮とろりと悲なき家族　代香
ときに雪ときに日差しや寒ゆるむ　としお
そそり立つ光の春や大欅　みい
神棚に今朝拾ひたる福の豆　しげ
風花の空高ぐもりうす曇　とみよ
救急車二月の風の中走る　静水
……
新年の炉にかかりたる大茶釜　史子
かんじきも団地の洒落た床飾り　舞子
老の身も無事にすぎ行き除夜の鐘　ミツ
裸木の畦に一列見ゆるのみ　義男
夫看とる友を励まし初電話　智恵
亡き母と語る仏間に陽ざし延ぶ　洋子
繭玉のずしりと重き一間かな　敏郎
畦草の北風に吹かれしままの日々　北魚
板の間に静坐凛々しく寒稽古　一翠
雪起し真暗らがりの空駆ける　素明
……
大華表参道清き梅香かな　小林とし松

春の訪れを告げる——ふきのとう

残雪の片隅に、そっとのぞく小さな緑。ふきのとうです。手を触れてみると、まわりの土のほのかなぬくもりが感じられます。ふきのとうは、春の訪れを告げる〝春の使者〟です。

土手の枯れ草の間や野原の日だまりに顔を出すふきのとうーーきざんで味噌汁に浮べたりすると、春が来た喜びで心がはずみます。

とはいっても、最近は年が明けないうちから、ふきのとうをスーパーなどの売場で見かけます。栽培ものです。

山菜が注目され始めたのは、旅行ブームが起こった昭和四十年代の終わりごろ。しいたけなどのほかに、ふき、たらの芽、わらびなどが栽培されるようになりました。

ふきのとうは、ふきの新葉に先駆けて花茎が出てくるもので、ハウス栽培のふきが出回る前に、まずふきのとうが出荷されるわけです。

ふきのとうの食べ方は、天ぷら、酢のもの、ふきのとう味噌などいろいろあります。

ふきのとう味噌をつけた焼きあむすびなどは、ひなびた郷土料理として、観光客にも人気があります。

ふきのとうには雄花と雌花があって、雌花が咲いて白い冠毛がついたものを〝ふきの姑〟と呼ぶ地方もあります。

黒埼町では、ふきのとうのことを「ズボ」と呼んでいました。

お年玉当せん番号

年賀はがき・年賀切手（くじ付）

1等	衛星放送受信回路内蔵型AVテレビ（東芝）又は旅行券（日本交通公社）	A・B組共通	940219
			049619
2等	●腕時計 ●圧力鍋セット ●インスタントカメラ ●CDラジカセ ●羽毛掛ふとん 5点の中から1点選択	A・B組共通	518905
			071704
			460266
			840507
			84475
3等	ふるさと小包	A・B組共通	ワクセイ 19227　ワクセイ 26704 ワクセイ 31765　ワクセイ 43694 ワクセイ 89144　ワクセイ 81494
4等	ふるさと切手シートアルバム	A・B組共通	ワクセイ 549 ワクセイ 407 ワクセイ 325
5等	お年玉切手シート	A・B組共通	ワクセイ 21　ワクセイ 14 ワクセイ 80　ワクセイ 20

お年玉引換期間 平成3年1月16日～7月15日

大野町郵便局管内では、1等が2人に当たりましたが、2等は0。もう一度、確かめてみましょう。

スポーツの

体協だより

野球連盟も二十五周年を迎えました。

黒埼の野球発展に愛好者の皆さん、ご協力を

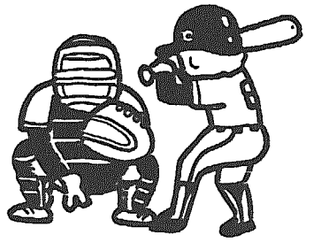
黒埼町野球連盟

黒埼町に野球連盟が組織として発足したのは、新潟大地震の翌年、昭和四十年春に職域野球として八チーム（町役場、町商工会、根岸にある新潟鋼機、山下家具、入倉自動車、他三チーム）の参加で開催されたのが最初と思われます。

黒埼町の野球は歴史も古く、野球人口も多かったのですが、町内に企業が少なくチーム数も少なかったのです。しかし、国道八号線の堤外地埋立てにより進出した企業が、当時の野球ブームを反映し次々と加盟しました。

昭和四十二年七月五日、現在の野球連盟規約が発効しましたが、連盟としての正式発足は昭和四十年四月とし、すでに二十五周年を経過しています。

その間、町営野球場もなく、山下家具グラウンド、証券業協会、経済連、吉川生コン、町体育館、黒埼高校、立仏小などの広場を会員総出で整備し使用させてもらいながら野球の灯を消すことなく続けた野球愛好者に、昭和五十一年、町営球場がプレゼントされ、一気に各町内、各公民館単位、好きな仲間でクラブを結成し、企業チームと合わせ四十を超えるチームが加盟し、隆盛を誇りました。しかし、加盟者の年齢が上がったことや若い人の野球離れからチーム結成が出来ず、やむなく脱会するなどで、平成二年末三十一チームの加盟となっています。



現在、休部をしておられるチームの復活、新チームの結成・加盟をお願いします。

野球連盟の事業として、大会の開催と後援活動を、連盟内に所属する審判部と協同で行っています。中学校野球、町の早起き野球、壮年早起き野球、各公民館の大会、小学校大会に積極的に応援し、町内外の方から喜ばれています。昨年は新潟県壮年野球大会も後援させてもらいました。

全国大会を目指す若人のチーム・オール黒埼は町の精鋭揃い、参加してみませんか。四十二歳以上のかたは年齢に合わせた野球を展開している黒埼クラブに参加してみませんか。また裏方として審判をやってみたいかたは審判部に参加しませんか。

野球は走攻守の三拍子が必要といわれるように、全身運動の最たるものです。

明るい太陽の下、健康の増進、健全な情操、平和な町づくりを目的とした連盟に、新チームを結成し加盟するか、既存のチームに参加するかして、黒埼町の野球発展に、愛好者のご協力をお願いします。

なお、お問い合わせは、

◎町連盟理事長・笠井五郎☎三七七－五五三九

◎町連盟審判部長・野口昭治☎三七八－七〇七六

◎町連盟オール黒埼監督・岩田敏博☎二三一－五二一〇

◎町壮年野球黒埼クラブ監督笹川英雄☎三七七－四九一七

初心者のためのゴルフ教室

プロのインストラクターから指導が受けられます。

▶募集人員　24人
▶指導員　川崎憲治プロ（日本プロゴルフ協会員）
▶日時　3月第2週から、毎週
Aコース…火曜午前10時～11時
Bコース…火曜午前11時～正午
Cコース…金曜午前10時～11時
Dコース…金曜午前11時～正午
▶レッスン料　18,000円（各コース8回分）
▶会場　日東ゴルフ練習所（新潟市小新）
▶申し込み先　総合体育館
▶問い合わせ先　山田忠☎377－2054か安藤☎378－7793へ
※貸しクラブあります。

スポーツ安全保険

に加入して、万一のけがや賠償責任、突然死などの事故に備えましょう。子供会や運動クラブなど5人以上の団体であれば加入でき、掛金は1人年額で、子供や文化活動が360円、一般は1100円（老人団体は500円）。〒申スポーツ安全協会新潟県支部（☎228－6320）

特別身元引受人を募集

中国残留日本人孤児のための

身元が判明しても近親の在日親族がいないなど特別の事情により、肉親による身元引受けができないため、永住帰国を希望しながら帰国できずにいる中国残留日本人孤児の帰国を促進するため、肉親に代わって帰国手続きや帰国後の定着自立に必要な相談、助言を行なっていただく特別身元引受人を募集しています。

▼役割　孤児世帯の身元を肉親に代わって引き受け、帰国手続きを行うほか、身近にあって日常生活上の諸問題の相談に応じ、自立更生に必要な助言、指導を行う。▼資格　孤児世帯および肉親の置かれている立場を理解し、帰国した場合、日本社会に早期に定着するための指導に、熱意をもって当たれること。

▼身元引受けの期間　中国帰国孤児定着促進センター退所後3年以内　▼手当　月額17000円（平成2年度）

〒新潟県民生部社会福祉課援護恩給室（新潟市新光町4番地1　☎285－5511内線2481）か厚生省援護局庶務課中国孤児等対策室（東京都千代田区霞が関1－2－2　☎03－3503－1711）